桂坂

19971128
[9709]
総48号

発行
桂坂
自治連合会
広報編集部

桂坂自主防災会

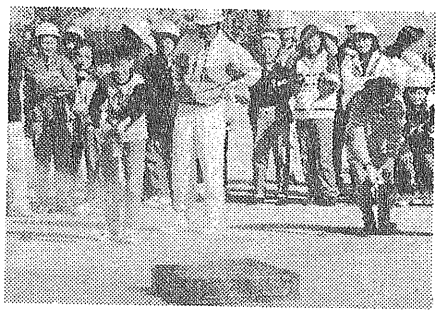
非常時に備えて
防災総合訓練 □救出／消火／救護／炊き出し
―今年は車椅子の方も参加―

好天に恵まれた一一月九日、桂坂学区の総合防災訓練が実施されました。

早朝から西京消防署員の方や役員の手で訓練のための諸道具・施設などを準備設営。八時三〇分、緊急放送。防災部ごとに桂坂小学校へ避難開始。到着した各防災部は直ちに避難人員と被害状況を本部に報告。

この後、九時三〇分から訓練が始まりました。

岩崎洛西副支所長、今村西京消防署長等多くの来賓をお迎えした会場には、いつもの年ならばハシゴ車など緊急自動車も繰り出して防災訓練に色を添えるのですが、今年は、その出動もありませんでした。



これにはわけがあって、今年は、自主防災部の役員の方が災害の実際に即応できる訓練を念頭において普段から調査・研修を重ね、連帯意識の醸成に努めたその成果を、今年初めて参加される一般の方とともに再確認してみようという試みでした。

参加者は三班に分かれて消火・救護・応急処置の訓練をそれぞれ一わたり実地体験し、代表による模擬訓練の後、給食給水班（桂坂小学校ＰＴＡ・山の手クラブ・地域女性会）「炊き出し」の「豚汁」をいただいて訓練を終えました。

今回、車椅子で参加された方もありました。初めてのことです。

この桂坂自主防災会の考え方や目指していることなどが示されていますので、ここで、訓練開始に先だって行われた桂坂自主防災会の菊池会長の挨拶の要旨を記しておきます。

自主防災会の行った今年の主たる行事は、

Ⅰ：災害時に救出・救護等を希望される方の調査［五月実施］

Ⅱ：各種団体を中心とする消火・救出等の専門部会を発足させ、実務について研修［七～八月実施］

Ⅲ：各自治会の防災部ごとに、会議・討論会を開催し、「自分の街は自らが守る」連帯意識の醸成に努める［八～九月実施］

Ⅳ：八月一日、大枝消防団桂坂班（班員一五名）の誕生など。

このように「安心と安全の街づくり」を目指し着々と体制を整えています。

「人は己の災難に遭って初めて組織のありがたさを知る愚か者」であり、しかも「自分は絶対、大丈夫なんだ」と思いがちですが、そんなものではない、「平素からの近隣者とのよき人間関係」が「『いざ！』の時に救ってくれる」のです。

私は桂坂自主防災会の会長ですが、何ら「権限」はない、しかし「安全な街づくりのための『責任』はある」と自分に言い聞かせ、他の役員の方々にも同じ思いで頑張ってもらっています。

折角の機会、「体験されたことを今後に役立てられ自主防災のリーダーとして活躍されるよう」お願いいたします。

桂坂

給食部奮闘記

桂坂小学校ＰＴＡ副会長
琴浦良子

一一月九日（日）訓練開始のセキユリティー放送が入るとすぐ、各自治会二～三名の給食給水班員は、他の自主防災部の班員より一足早く、広域避難場所の小学校へ駆けつけます。給食給水部部長の片山桂坂小学校ＰＴＡ会長を中心に、地域女性会と山の手倶楽部の協力のもと、いよいよ今までの研修会や打ち合わせ会の総決算というべき訓練開始です。

今年は、四二〇人分の豚汁の準備、それも外に設置したコンロに大鍋五つを並べて、少しでも緊急の場合に近い形で実施することになっていました。

大鍋に水を入れ始め、一方では野菜を切り始めますが、緊急の場合なので、皮はむかずに、葉っぱも全部使い切り、ほとんどごみが出ない、しかもプロなみの包丁さばきであっという間に、鍋に次々と野菜が入っていくのには思わず感心してしまいます。煮立った鍋に豚肉を入れると良い味が出て、大鍋の周囲に美味しそうな香りがしてきます。

お味噌を入れ、味を整えた一一時過ぎ、グランドでの訓練を終えた人たちがどーっと集まって来られ、これまたあっという間に五つの大鍋は空っぽになり、支給終了。

山の手倶楽部の準備して下さったお茶をいただき、一一月にしては暖かい陽気に恵まれた今年の防災訓練も無事終了しました。

緊急時に美味しい豚汁を作る（地域女性会「秘伝」の方法を教えてもらいました）、それも大量に準備できるという自信を何よりの収穫に、「給食給水」の訓練を終え、めいめい家路に着きました。

関係者の皆様、本当にご苦労さまでした。

自治会紹介
にれの木自治会

「にれの木自治会」は、平成七年に準備委員会が発足してからやっと三年目を迎えた若い自治会で、御陵峰ケ堂町一丁目と三丁目から構成され、現在一七二戸です。

「桂坂公園」の東に位置し、三丁目の北側に「如月公園」と「にれの木会館」があります。

本年度の役員は自治会の役員未経験者ばかりでどうなることか心配でしたが、前年度の役員さんのアドバイスと皆さんのご協力によりなんとか運営しております。

クリーン作戦、夏まつりは参加率も良く、小さい子供さん連れも多くて、楽しくできたように思います。ただ、体育関係行事への参加者が少なく、先輩の自治会さんにはご迷惑をおかけしました。

先日の「学区民体育祭」も心配の種でしたが、七〇名の参加者を得ることができ「綱引き優勝」という快挙まで成し遂げました。また小学生が、学年がそろわなかった中でのハンディを負いながらもリレーで決勝に進出したことはうれしい誤算でした。

自治会として新しいこともあり、自治会の活動を堅苦しく考える方がまだ多いように思いますが、各種行事の回を重ねる毎に、少しづつ近所付き合いの延長という形で参加者が増えていくことを期待しています。

会長　城下賢二

ふれあい会館案内

初心者のための
社交ダンス&
シャンソンを楽しむ集い

日時　12月30日（土）
午前10時～
午後3時30分
会場　ふれあい会館の
1階研修室1～3
参加費　三五〇〇円
講師　社交ダンス
中野耕次氏
シャンソン
大家真理氏
対象　二〇歳以上
定員　三〇名程度
持参品　携帯用スリッパ
上靴、動きやすい服装
（ヒールのある靴・靴底ゴム製のものは不可）
申込　一二月一〇日まで

第3回
『スカイクロス』の集い

「スカイクロス」は、老化防止や健康増進に役立ち、家族ぐるみで楽しめるスポーツです。

日時　12月21日（日）
午後1時30分～
3時30分
会場　ふれあい会館の
「スポーツ広場」
（雨天時は室内）
受講料　一〇〇〇円
（飲料費込み）
定員　五〇名（先着順）

申込・問合わせ
ふれあい会館管理部
TEL　333－4651
FAX　333－4664

ふれあいの里の諸施設を結ぶ

消防互助会発足

ふれあい会館　中根超信

洛西ふれあいの里（洛西福祉ゾーン）では、去る十一月十五日「洛西ふれあいの里施設等消防互助会」の発足を記念して、消防訓練及び結成式典を開催いたしました。前日より雨模様でしたが、次第に晴れ間も見え、無事にこの催しを終えることができました。

この日の催しを簡単に振り返ってみますと、午前七時に雨天の状況を西京消防署に連路し、午前九時から六施設（ふれあいの里授産園・更生園・療護園、沓掛寮、西養護学校、ふれあい会館）の職員による準備が始まりました。

午前九時四十五分、授産園と更生園での夜間火災を想定した消防訓練は、それぞれの施設の電話連路網により連格、すぐに消防車や救急隊が到着し、逃げ遅れた職員を救出するなど本番さながらに行われました。

その後、ふれあい広場のステージでは、互助会結成の式典が行われ、最初に互助会役員及び会員の紹介、そして互助会会長山口英太郎（ふれあい会館館長）より規約や応援協約の伝達を行い、更に結成に至るまでの経過と今後の方向性など抱負が述べられました。

特に、会の設立に関わったふれあいの里六施設では夜間二百名以上が宿泊しており、火災や災害時における人命救助と応援の体制づくりが強調されました。

また、来賓の今村西京消防署長からは、「各施設を結んだ会ができたのは、京都市で最初のケースでありその意義は大きい。今後、桂坂地域の自主防災会との連携を深めるとともにそれぞれの施設を知っていただき、非常時の時に備えるそのためにも日常的な交流をすすめていただきたい」との要請がありました。

更に、菊池自治連合会長からは、「地域と施設を結ぶ、福祉共生のまちづくりが桂坂自治連合会の目標・課題で、なかでも火災など災害時における防災活動がその原点である。桂坂地域においては、桂坂自主防災会を基盤に、互助会と連携していきたい」と力強いお言葉をいただきました。

式典の最後は、桂坂自治連合会協賛による京都市消防音楽隊「防火ふれあいコンサート」が盛大に行われ秋の防火運動のフィナーレを飾ることができました。

常日頃から桂坂地域の皆さんの格別のご厚情に深く感謝申し上げ、ご報告にかえさせていただきます。

自主防災総合訓練

楽しい中にも真剣なまなざし

さっき自主防災部　二九　宏和

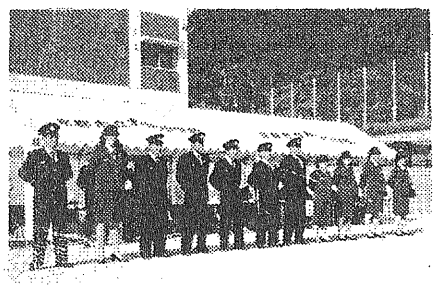
去る一一月九日、桂坂自主防災会主催の防災訓練が実施されました。

当日は昨年とは打って変わって好天で暖かい日に恵まれ、当さつき自主防災部におきましても、早朝より約四〇名の役員、班長、会員各位が参加、部長の指揮に従い、一団となって会場である桂坂小学校へと避難いたしました。

今年は特に桂坂消防分団の発足もあって、団員一五名のご披露がありました。制服姿には知った方の顔もあり、自主防災なるものが今までと違った感覚となってより一層、身近なものとして伝わって来ました。

訓練では、区役所や西京消防署からも多くの方にご参加いただき、親切にご指導いただきました。

消火訓練や、緊急時に即参考になるような三角巾を使った実地体験、また、小学校にすでに常備してある担架の組立てや緊急時にあり合わせの毛布を応用する担架作りなど貴重な経験ができたと思っております。楽しい雰囲気の中で進められる訓練の中にも、参加された住民の皆さんの真剣なまなざしを感じました。



訓練の最後に、炊事班の豚汁の実習訓練の成果を参加者全員がおいしくいただくと共に訓練の成功を確認し合った、立派な自主防災訓練であったと思います。

桂坂消防団の今後のご活躍をお祈りしております。

秋の指定席

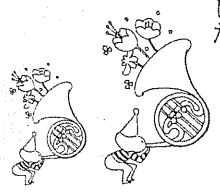
カザラッカコンサート

——五回目を迎えて——

十一月のいきいきサタデーは、桂坂小にて行われたカザラッカコンサートで、ゆったりと楽しみました。

藏野先生のあたたかな笑顔と、晴れやかな指揮で、ほっと落ちつける上等のいすに腰かけたように、コンノを、心ゆくまで聴かせていただき、透明で美しい伸びやかな声は、私達の心をふるわせました。

また、定番になった、楽器をひとつずつ紹介するコーナーでは、どこかで耳にしたことのあるメロディーの一節が、どんな楽器で演奏されているのかが、よくわかり、とても興味深く、子供たちもよく聴いていました。そのお話のまとめとして演奏された『管弦楽のためのラプソディー』（外山雄三　作）は、和太鼓や拍子木、チャンチキ、お寺の鐘などを使って、日本民謡調の楽しい一曲となっていました。定番の中にも、今年は今年で新しい風を吹き込んで下さっているのだなぁと、楽しく聴かせていただきました。



また、今年は、メロディークラブの子供たちと四年生全員が、オーケストラとともに共演し、なごやかな雰囲気の中で、楽しいひとときが過ぎていきました。

今年で五回めを迎えたカザラッカコンサート。かかわってくださった多くの方たちの心が一つひとつ輪になって、ゆったりと、豊かな秋のひとときを作りあげているんだなぁと、感謝の思いで帰路につきました。

†

子供が、「藏野先生のところへ走って行って「ありがとう！」って言ったら、「また来年も来てね」って言ってくれたよ！」と嬉しそうに話していました。

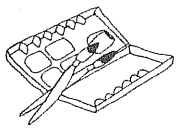
スタッフとしてコンサートを支えて下さったPTA役員、委員の皆様、地域の皆様、ほんとうにありがとうございました。

来年も、すてきな秋の指定席を心から楽しみにしています。

■入江　雅子■

桂坂手作り絵本の会・主催

『手作り絵本展』を観て



編集委員　井出信子

皆さん、桂坂に「絵や文章から製本まで、母と子でつくる」絵本の会があるのをご存じですか。一一月一四日～一六日迄、洛西図書館で展示が行われました。

一九九一年に三人で発足し徐々に会員を増やし、現在は、一七人の母親たちで活動しています。今回で五回目の展示になり、テーマは、「冒険」。

出品数は四五点余りで、自分の子供の成長や幼稚園の一日の過ごし方、実際にあった出来事の記録などが物語になっています。我が子を動物に例えて話を展開させたり、お腹にいる赤ちゃんへのメッセーや家族とペットを兼ね合わせて成長の喜びを表現したりしたものなど、読んでいて心暖まるのと同時に胸に熱いものが込み上げてくる作品ばかりでした。

自由作品の中には、布の絵本、中国語の絵本、小学生の作品、新聞広告の裏に描かれた子供のお絵書きを一冊の本にまとめたものもありました。

どれを取っても「世界で一つしかない本」であり、どんな高価なものより価値があります。

今はスイッチ一つで何でもできて、何でも「あたり前」の時代です。物が豊かすぎて、感動や、一番大切なこととは何かを忘れてしまいそうです。何処の親御さんも経験あるでしょうが、普段生活している中では、ついガミガミいってしまったり、欲ばかりが先走りして、素直にうまく愛情が伝わりにくいことも多いと思います。でも本来は、我が子が元気でここに存在してくれていることが、この上ない幸せであり、喜びであり、感謝なのかもしれません。

この様な気持ちが、今回出展された一冊一冊、どの絵本にも込められていて、最高の贈り物になるのではないでしょうか。そして、登場している子供たちが大きくなってこの絵本を見たとき、きっと、何かを感じてくれることでしょう。

最後に、会員のお母さん方、来年の作品も楽しみにしています。心暖まる優しいひとときをありがとう。

■原稿をお寄せください■

広報編集部

——桂坂について「夢」を語る——

この広報紙『桂坂』も皆さんのご協力・ご支援をいただき、お蔭様で来年早々には五〇号を数えることになりました。

これを機会に、ふたたび皆さんに桂坂について「夢」を語っていただこうと思います。桂坂にお住みになってのご感想、桂坂は今後こうあってほしいという願いや注文、あるいは、こんな街にしようではありませんかといった提言など気楽にご投稿願えれば、と思うのです。六〇〇字程度で結構です。自治会選出の編集委員までお届けください。寄せられたものから連載していきます。よろしくお願いします。